

「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」報告書

ピア養成研修ワーキンググループ報告

ピア養成研修ワーキンググループ長 秋月 伸哉

がん感染症センター 東京都立駒込病院 精神腫瘍科・メンタルクリニック 部長

A. 目的

本 WG の目的は、すべての都道府県で継続的に進め、実際の活動につなげることができるピア・サポーター養成プログラムを開発することである。2018 年度には、ピア・サポーター研修プログラム、並びにピア・サポーター養成テキストを作成し、パイロット版の研修を実施した。2019 年度は、ピア・サポーター養成テキストの改訂、ピア・サポーター養成研修会運営マニュアルを作成し、三重県でプログラムに基づくピア・サポーター養成研修会を行った。

本年度は昨年度までに開発したプログラムに基づく研修会を各都道府県で広げていくことを想定していたが、新型コロナウイルス流行のため対面型研修会の実施が困難となり、オンライン研修を取り入れた短縮版を開発し、実施することとした。

B. 経過

1. ピア・サポーター養成研修で用いる講義動画作成

養成研修プログラム時間を短縮するため、対面でなくても比較的实施可能な講義パートを動画撮影し、研修会までに参加者が視聴できるようにした。

2. 短縮版ピア・サポーター養成研修会の実施

昨年度開発したピア・サポーター養成研修会運営マニュアルをもとに、短縮版開催にあたっての修正を行った。

昨年度の三重県に引き続き、開催希望のあった長崎県で短縮版ピア・サポーター養成研修会を計画した。

2020 年 11 月 14 日にピア・サポーター養成研修会（日本サイコオンコロジー学会主催、長崎県・長崎県がん診療連携協議会共催）を実施した。11 月 14 日 37 名（ピア・

サポーター 15 名、医療・行政担当者 22 名）が参加した。

参加者は事前の動画視聴を含む 10 単元のプログラムに参加した

が、いずれのプログラムも 80%以上の参加者が有用であると事後アンケートに回答した。自由記載内容について代表的な意見を以下に示す。

（アンケート結果から一部抜粋）

プログラムの構成について

- ・とても充実した内容と時間でした。特にロールプレイがよかったです。
- ・かなり詰め込んだ感じでしたが 1 日にすると仕方がないのかな。ロールプレイ 4 回はかなり疲れました。

難しい内容はありましたか？

- ・ロールプレイは正直難しいと感じました。ただこの経験があることで実際何が大変か実感できました。
- ・行政のことについては難しかった。がん診療の知識と情報提供の注意点は難しかった。

追加してほしい内容はありますか？

- ・長崎県外のピアの話しも聞けたら良かったかもです

その他

- ・事前の DVD はもう少し早いタイミングで欲しかったです。2 週間前だと視聴に時間確保が難しかったです。
- ・新しい情報や慣れなどの心配があるので、定期的にこの研修が出来るといいなと思います。
- ・相談員の交流の場が欲しい。相談員向けの研修があると良い。

アンケート結果から、おおむね妥当なプログラム構成であることが想定された。ロールプレイを難しいと感じる参加者が多いが、意義を高く評価されていた。講義資料の事前配布タイミング、継続的な研修の機会、サポーター同士の交流の機会などが課題として挙げられた。

3. フォローアップ研修への提案

今年度実施の養成研修でも、1回だけでなく継続的な研修の機会が望ましいという声があった。いくつかの県でフォローアップ研修を開催している。

委員会での話し合いにより、フォローアップ研修に含まれることが望ましい要素を下記に列記した。

講義

ゲノム医療、コロナとがんなど時期にあった内容を医療従事者ら講義。新しい知識が増えることで、学習機会を求める参加者の満足度が高くなることが期待される。

ロールプレイ

可能なら模擬患者を用いて、日々の相談で困るようなシナリオのロールプレイを実施。模擬患者の手配が難しければ、相談員など医療従事者が行うこともできる。

事例検討

運営上検討の必要がある事例や、参加者アンケートなどから事例を取り上げ、グループで議論する。

テーマを決めた「自分の体験を語る」

短く体験を語る練習。体験を改めて整理する。

(例) 副作用のことについて、病期を伝えられた直後について、医療者とのコミュニケーション、家族とのコミュニケーションなど。

C. 考察

2018年度、2019年度に開発されたテキスト、プログラムをもとに、コロナ流行下でも実施できるよう日程短縮版のサポーター養成研修プログラム、ならびに開催マニュアルを開発、実施した。実施上の大きな問題はなかった。

2日版、短縮版とプログラムの開催パターンを増やしたことにより、全国で開催しやすくなったと考えられ、今後の継続的な研修機会の広がりが期待される。

また一度開催した都道府県では、今年度提案したフォローアップ研修の要素を含む継続研修の機会をもつことも今後必要な展開である。

第1回 WG会議

日時：令和2年7月22日（水）18：00～19：30

- 議事：1) あいさつ
2) 今年度の事業方針の確認
3) ピア・サポーター養成研修会に向けた検討
4) 次回までにやるべき事、今後の予定の確認

第2回 WG会議

日時：令和2年10月14日（水）18：00～20：00

- 議事：1) 長崎県ピア・サポーター養成研修会に向けての検討
2) 今後の予定の確認

第3回 WG会議

日時：令和2年11月30日（月）19：00～20：00

- 議事：1) 長崎県ピア・サポーター養成研修会の反省
2) フォローアップ研修の提案について
3) 今後の予定の確認

ピア・サポーター養成研修会のための講義動画撮影

日時：令和2年9月28日（月）13：00～16：00

令和2年10月1日（木）16：00～18：00

令和2年10月5日（月）10：00～12：00、15：00～17：00

長崎県 ピア・サポーター養成研修会

日時：令和2年11月13日（金）（事前打合せ 18：00～20：00）

令和2年11月14日（土）（研修会 9：30～17：00、反省会 17：00～18：00）